

報道関係者各位

2022年10月

株式会社Aカードホテルシステム

『出張ビジネスマンの実態』調査結果

コロナ禍による出張日数減少も回復の兆し

全国で独立系ホテルのキャッシュバックポイントカード運営を手掛ける、株式会社Aカードホテルシステム(本社:東京都千代田区、代表取締役:内藤信也)は、同社が運営する「Aカードホテルネットワーク」(<https://www.acard.jp/>)の会員に対し、インターネットでのアンケートを実施。「出張ビジネスマンのホテル利用実態に関するアンケート」と題して、2022年8月12日(金)～8月19日(金)の8日間に渡って、調査を実施いたしました。

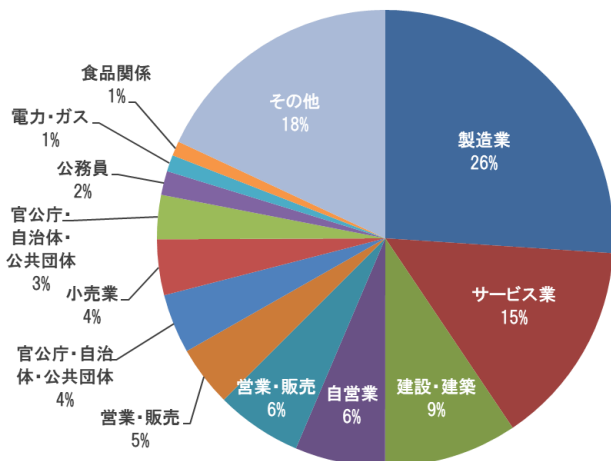
調査概要	回答者属性
調査機関: 株式会社Aカードホテルシステム	回答者数: 4,539人(内 73%が「出張する」と回答)
調査方法: インターネットアンケート	性別: 男性 90.7% 女性 9.3%
調査目的: 出張ビジネスマンのホテル利用実態を調査	年齢: 30代 24%、40代 27%、50代 40%、60代 7%
調査期間: 2022年8月12日(金)～8月19日(金)	職業: 会社員 76%、公務員 2%、自営業 6%
調査対象: Aカード総会員約129万5千人(2022年7月末時点)	

今回のアンケートは、出張ビジネスマンがターゲットであるAカードホテルシステムの会員約130万人を対象に実施。その約0.4%にあたる4,539人が回答し、その内73%が「出張する」と回答しました。

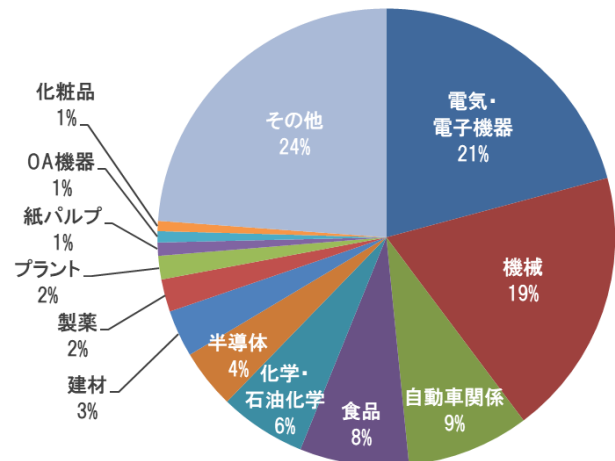
■回答者のプロフィール

まず、回答者のメイン属性は、30代から50代を中心とした男性会社員となります。回答者のプロフィールを見てみると、業種は製造業が最多で、25%【グラフ(1)】、職種は「営業・販売」が20%で、次に「製造・生産・品質管理」「技術開発・設計」が9%【グラフ(3)】。役職については「一般クラス」が26%と一番多いが、経営者クラスも11%占めており【グラフ(4)】、年収は、500万～600万が一番多く15%で、加重平均では596万円となっています【グラフ(5)】。

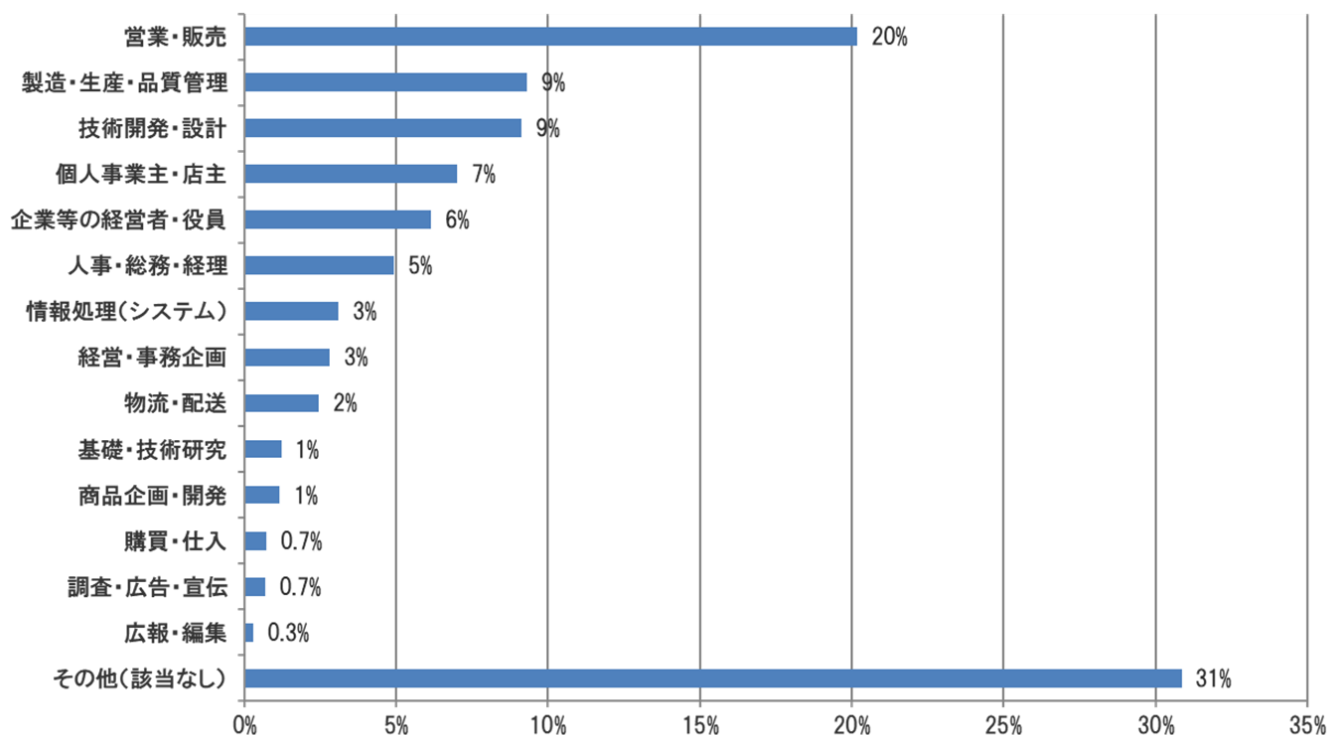
(1)勤務先の業種(有効回答者数:4,539人)



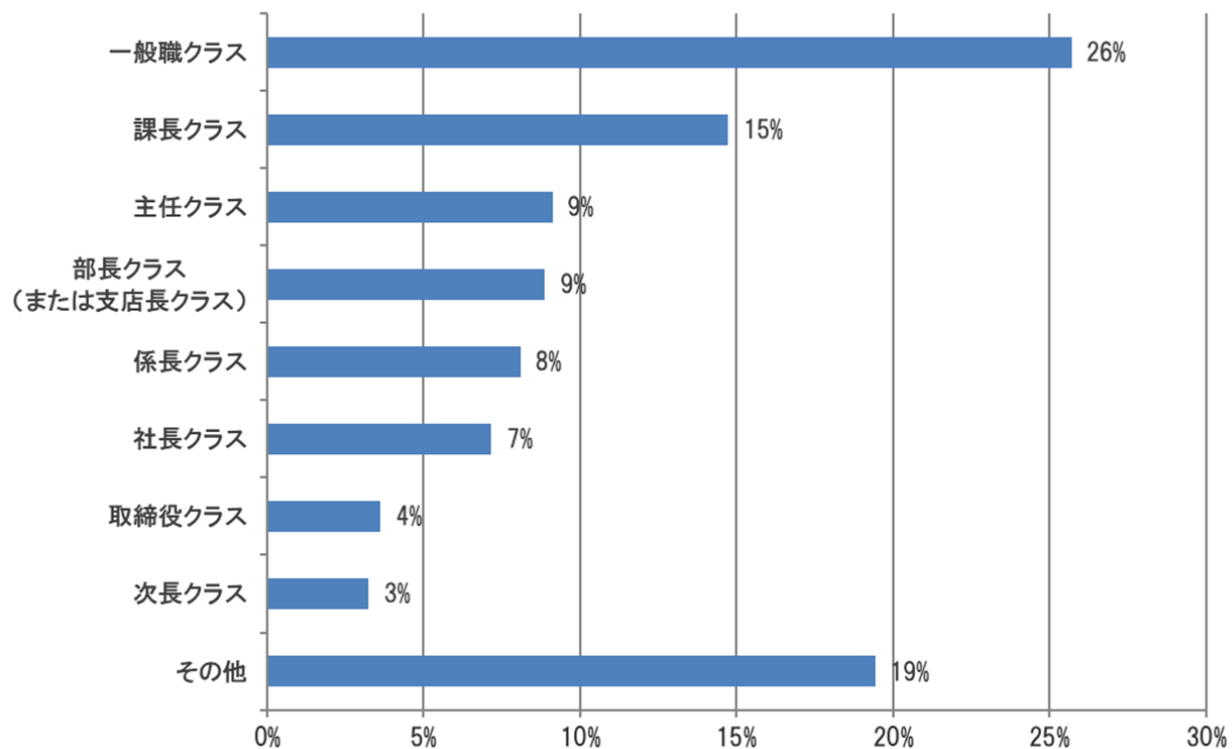
(2)(1)製造業の内訳(有効回答者数:1,388人)



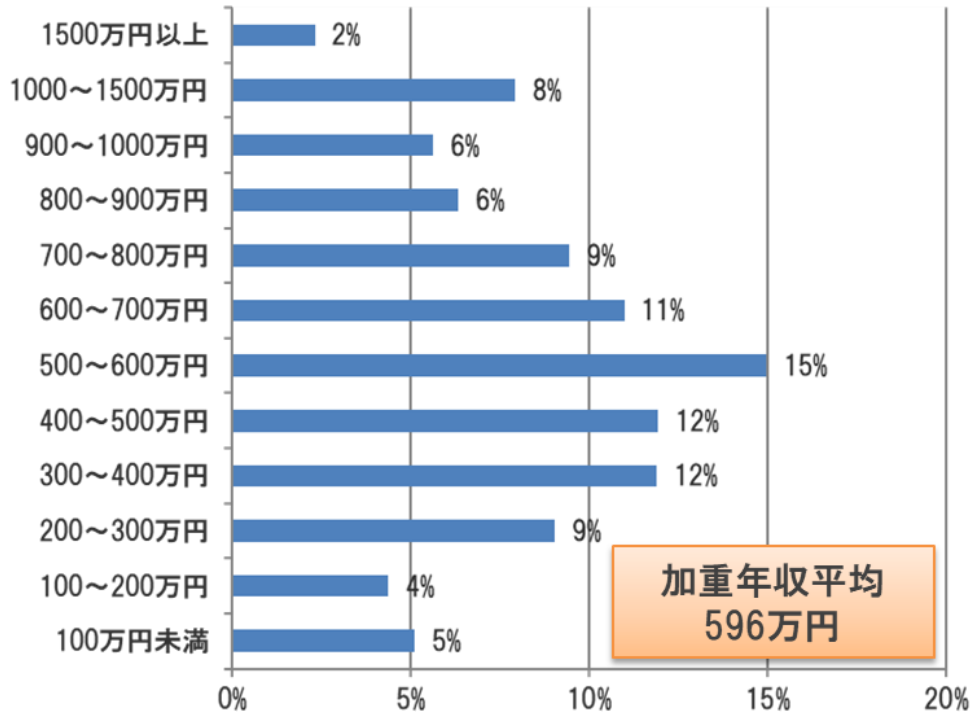
(3)勤務先(職業) (有効回答者数:4,539人)



(4)役職 (有効回答者数:4,539人)



(5)年収（有効回答者数 4,539 人）

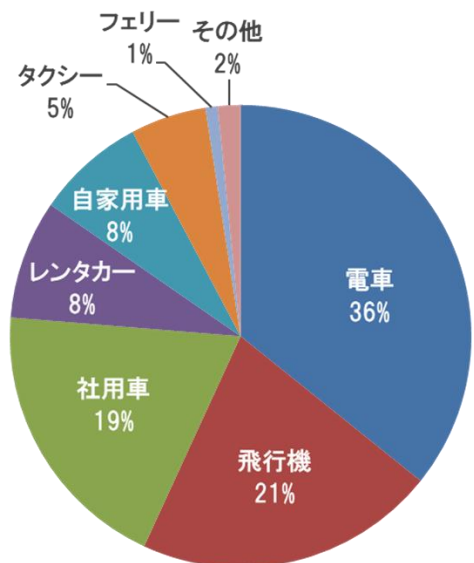
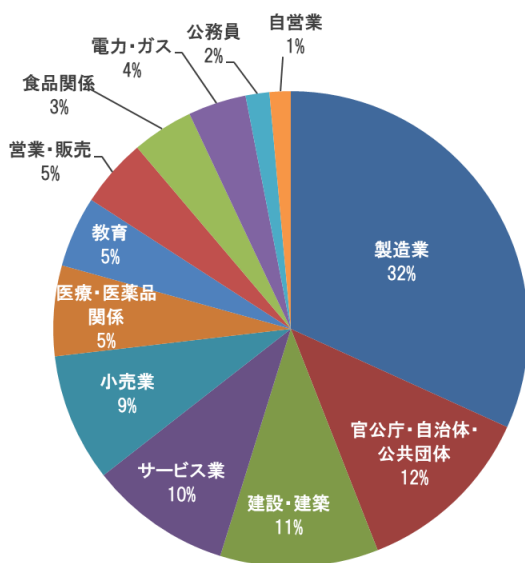


■出張時の主な訪問先と移動手段

出張時の主な訪問先については「製造業」が最多の32%、次いで「官公庁・自治体・公共団体」12%、「建設・建築」11%という結果となりました【グラフ(6)】。また出張時の移動手段として何を頻繁に利用するかという問いに対しては、「電車」と答えた人が最多の36%、次いで「飛行機」21%、「社用車」19%という結果になりました【グラフ(7)】。

(6)訪問先の業種(有効回答者数 2,779 人)

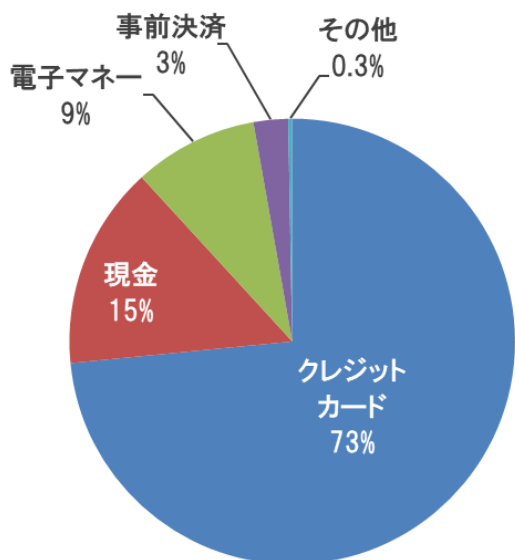
(7)出張時の移動手段(有効回答者数:7,067 人)



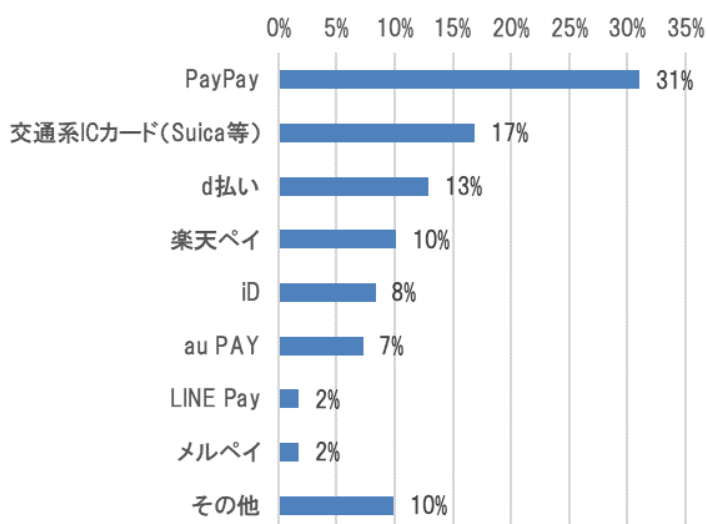
■ホテルでの支払いは7割以上がクレジットカード、電子マネーも増加傾向

今回の調査では出張ビジネスマンのホテル利用実態も明らかになりました。ホテルでの支払いの際、個人で精算する場合の支払い方法について聞いてみたところ、「クレジットカード」が73%と前回(2017年)の調査と同様、最多となりました。一方で、「現金」(15%)と回答した人は前回結果(26%)より11%減少し、代わって「電子マネー」と回答した人が8%増加する結果となりました【グラフ(8)】。また、「電子マネーを利用している」と答えた人が主に利用している電子マネーについては、「PayPay」が31%と最も多い結果となりました【グラフ(9)】。

(8)ホテルでの支払い方法(有効回答者数 4,539 人)

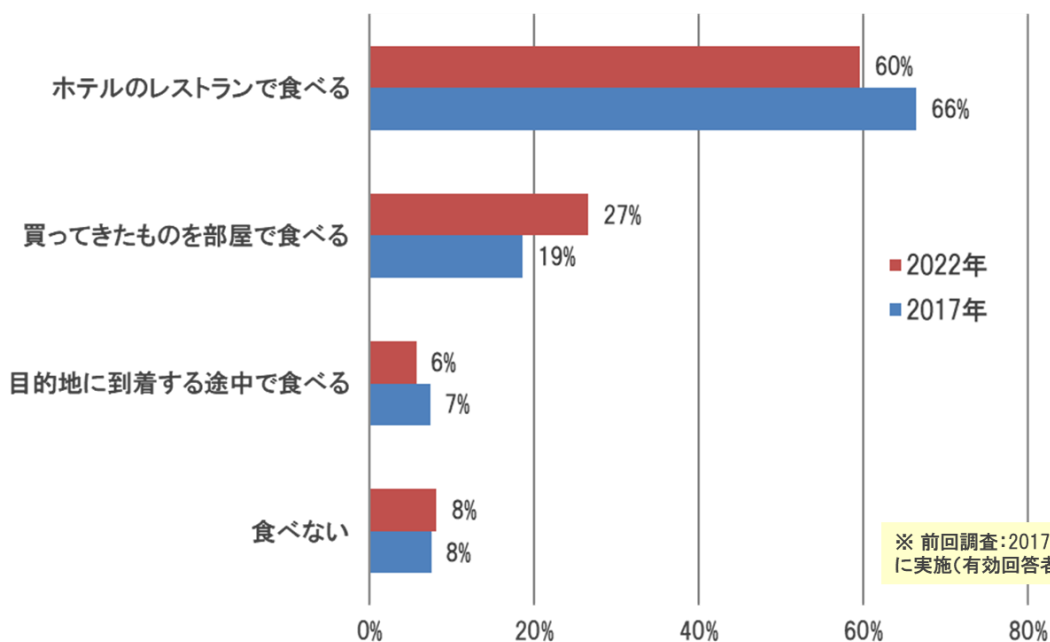


(9)主に利用する電子マネー(有効回答者数:1,127 人)



ホテルでの朝食をどのようにとるかという問いに対しては、60%が「ホテルのレストランで食べる」と回答していますが、前回調査と比較して減少傾向にあります。一方で「買ってきたものを部屋で食べる」と回答した人は全体の27%ですが、その比率は前回調査より増加傾向にあり、コロナ禍の影響が伺えます【グラフ(10)】。朝食の内容や設備へ力を入れること、また部屋食などの選択肢を増やすことは、ホテルの評価を上げるのに効果があると思われます。

(10)ホテルでの朝食をどのようにとるか？(有効回答者数 4,539 人)

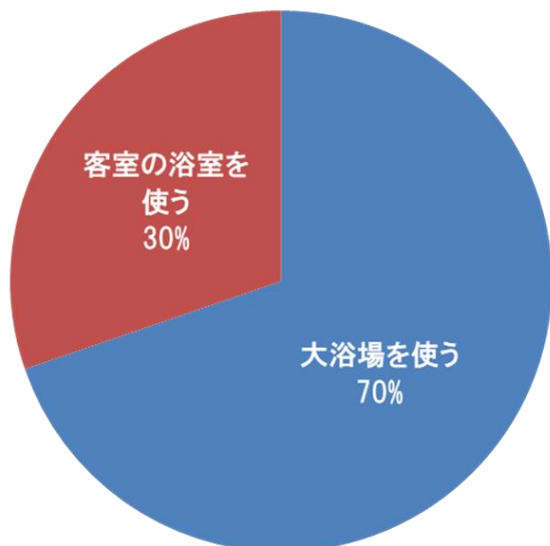


※ 前回調査:2017年6月26日~7月3日
に実施(有効回答者数3,611人)

■7割が大浴場を利用すると回答、アメニティは種類によって必要度に差が出る結果に

大浴場の利用についての調査では、70%が「ホテルに大浴場がある場合は大浴場を使う」と回答しており【グラフ(11)】、このことからビジネスホテルでも大浴場を設けることは、他のホテルとの差別化にも有効と考えられます。

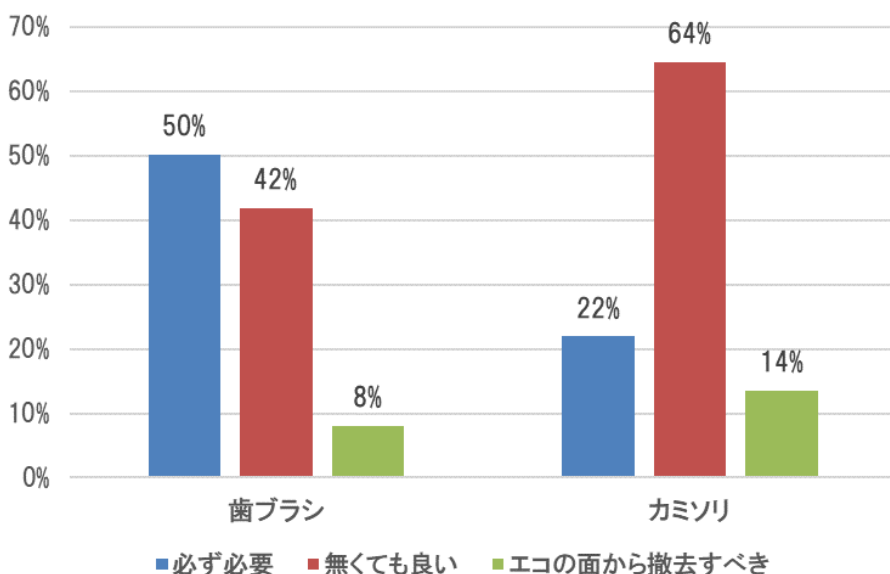
(11)ホテルに大浴場があった場合、どちらを利用するか(有効回答者数 4,539 人)



歯ブラシ・カミソリがホテルの客室に必要かどうかという問いに対しては、「必ず必要」と答えた人が歯ブラシでは全体の半数(50%)であったのに対し、カミソリでは22%に留まりました【グラフ(12)】。また、「エコの面から撤去すべき」との意見も歯ブラシで8%、カミソリで14%の人が回答しています。

2022年4月には「プラスチック資源循環促進法」が施行され、プラスチックゴミ削減のため、特定プラスチック使用製品を前年度5t以上提供した事業者には、客室の歯ブラシ、カミソリ、ヘアブラシ・くし、シャワーキャップの使用量削減が求められていますが、SDGsへの関心は今後も高まっていくと考えられます。

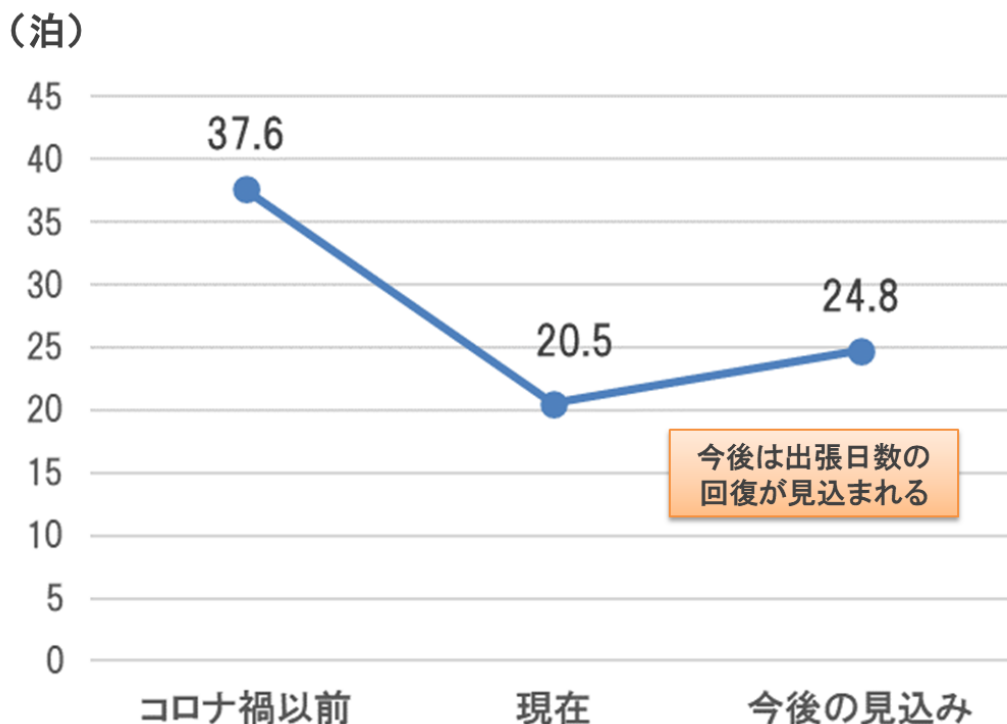
(12)アメニティの必要度(有効回答者数 4,539 人)



■コロナ禍で出張日数は減少するも今後は回復の見込み

今回の調査では、新型コロナウイルスの蔓延が出張に与えた影響についても調査しました。まず、コロナ禍の影響を受け、出張日数に変化があったかという問いに対しては、65%の人が「減った」と回答しました。1人当たりの年間平均宿泊数も、コロナ禍以前と比較して平均17泊程度減少する結果となっています。一方で、今後の出張日数の見込みについては回復の兆しが見られます【グラフ(13)】。

(13) 出張日数の見通し(年間出張日数の推移見込)



Aカードとは: 全国独立系ホテルを中心としたキャッシュバックポイントカードのサービスで、ポイント還元が現金で行われるなど、画期的なポイントシステムが注目されているサービスです。加盟ホテル・レストランも522店舗で、会員数は約130万人。主な利用者は30代~50代のビジネスパーソンで、特に出張の多いビジネスマンを中心に人気を集めております。